



夢★きらめいて

No. 4

加東市教育委員会/加東市人権・同和教育研究協議会 平成19年8月1日

目次

- 加東市人権・同和教育研究協議会……………2・3
- この夏は……この秋は……………4・5
- 新着ビデオ・DVDの紹介……………6
- 男女共同参画……………7
- ポスター・短文文優秀作品……………8・9
- 子どもの人権と健全育成を考える講演会……………10・12
- 小学生の人権作文……………13・15



「人権文化をすすめる市民運動」人権ポスター優秀作品

滝野中学校3年 小林 泰雅さん

ひろげよう 心のネットワーク

日本各地で、大雨・台風・地震等被災された方々に対し、心からお見舞いを申しあげます。

災害については、やはり阪神・淡路大震災、台風23号が頭に浮かんで参ります。被災された方々の避難所生活や、それを支えるボランティアの人々。本当に人とひとのつながりの重要性が、そこには見えてきます。

担架で運ばれながら、「ありがとう。」を繰り返しながら亡くなったお年寄り。土砂に埋まった自分の家の前に立ちつくす人。子どもを背負いながら、「育児ボランティアがいれば……」と言いながら家を片付ける若い母親。

こんなときこそ、「私には何ができるのか」と立ち止まって考えてみる、そんな時間を持ちたいものです。

8月は、「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間です。

今こそ、加東市内の「こころのネットワーク」づくりが、少しでもすすみますように、市民一人ひとりのご協力をよろしく願います。

「なぜ人権学習が大切なのか」



加東市人権・同和教育研究協議会

会長 堀井 洋一

退職するまで、某市の小・中学校の20年、市・県の行政18年と様々な立場で学校・社会教育に携わってきました。老若男女、心身にハンディのある人、ない人を対象に教育経営・実践してきました。その教育活動全ての基にあるのは、『どの人も人として大切にされる(人間尊重)』という考え方でした。それと同様に、生涯学習の理念である『楽学利他(らくがくりた)』

【楽しく学び、学んで得た成果を人様のお役に立てる】の気持ちで、

この一年の重責を全うしたいと考えています。

さて、加東市になって一年半近くが経過しました。

加東市では、「山よし 技よし 文化よし 夢がきらめく 元気なまち 加東」の実現をめざしています。

これは、人が人として大切にされる視点からすると、「〇〇に生まれてよかった。住んでよかった。これからも住み続けたい」と思う加東市であるとも言えます。この

ように考えると、「まちづくり」と「人権」は密接な関係があることが理解できます。

では、こんなまちに誰がするのでしょうか。へ市民の当然の権利だから～と言って、まちづくりに関して何でも『〇〇してくれない』と要望する「クレナイ族」になる

のはいかなものでしょうか。「自由」と「責任」、「権利」と「義務」は表裏一体です。また、人々の暮らしを支援する考え方として「自

助」きょうじょ「公助」こうじょがあります。文明が発達し、成熟社会(少子高齢化・所得水準の向上・産業構造

の変化・科学技術の進展・高度情報化・国際化等)の現在では、「自

助」「共助」より「公助」の比重が大変大きくなっています。

それでは、そのようなまちづくりを、自治体(行政)だけに任せおけばいいのでしょうか。まちづくりの主人公はそこに住んでいる住民一人ひとりです。そこでのキーワードは「参画」と「協働」

です。そして、それを支えていくのが個人と集団での学びです。そのような「学び」を通して、まちづくりに「参画」し、世代を超えて、様々な場や機会に住民・行政・事業者を問わず、人と人が「協働」していくのです。

このような過程を経て、さらに人が人として大切にされる加東市になるのです。そのための学びが「人権学習」なのです。

今年一年、皆さまのご理解とご支援をいただきながら加東市同教としての事業推進をして参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。



高めよう人権意識

広げよう交流の輪

(地区住民学習スローガン)

去る5月29日から31日にかけて住民学習説明会を実施しました。

本年度の学習は、

- ① ビデオを見ての学習会や人権講演会等の実施
 - ② コミュニティを活性化するふれあい活動の実施
- の二本立てで年間2回以上の実施をお願いしました。そして、6月20日に、各地区の社会教育推進委員さんより、地区学習計画書を提出していただきました。

その中からいくつかの取り組みをご紹介します。

- ミルキーウェイ音楽会【老人会・子ども会による】
- 啓発ビデオをアニメにし、子ども、女性の参加を呼びかける
- ふれあい映画鑑賞会
- 三代交流ランドゴルフ大会
- 近隣地区との合同人権学習講演会
- 料理による留学生との交流【多文化共生】

- ドメステイックバイオレンスについての講演会
 - ビデオ「夕映えのみち」を使った人権学習会
 - 盆踊り大会による、世代間交流の促進
 - クリーンキャンペーン
 - 移動研修「人権のゆかりの地を訪ねて」の実施
 - 三代交流運動会
 - 秋津富士登山による他地区とのふれあい交流
 - 啓発パネルの展示
 - 三代交流のゲームと、もの作り等
 - 加東市人権パンフレット「みんなの願いがかなうまちに」を使った人権学習
 - ふれあい祭りの実施
 - 親子もちつき大会
 - ビデオを使って考える高齢者問題
- ※ 各地区からの計画書の提出ありがとうございます。助成金につきましては、振込み依頼書が届いている地区は、7月10日に指定の口座に振り込みを完了しています。ご確認くださいませますようしくお願いします。また、人権学習が終了しましたら、速やかに事務局までご報告願います。

プロジェクターの貸し出し、ビデオの貸し出しは、事務局に申し出てください。
返却は、お近くの公民館か滝野庁舎人権教育課へお願いします。

盲導犬見学・学習会

8月23日(木)

本年度、初の試みとして、市内全体の小学3年生から中学3年生を対象に募集を実施したところ、約180名の参加希望がありました。

当初は、実際に盲導犬訓練センターへ行き、施設見学などを行う予定でしたが、希望者多数のため出前講座に変更して実施します。

内容は、訓練士の方のお話と盲導犬になることができなかったPR犬との体験学習、質問コーナー等、訓練センターでの内容と同様となっています。

実際に盲導犬を目の当たりにし、子ども達の感性で、何かを感じ取ってくれればと期待しています。

そして、それを自分の言葉で綴ってほしいと思います。生きた人権学習につながればと考えています。



この夏は 体験を通して、「じんけん」を学ぼう！！

夏祭りライブ

8月19日(日)

窪田集会所で、若者たちが中心となって企画・運営するライブが開催されます。若者たちはもちろん、銭太鼓のみなさんや風の子学級の子ども達など、集会所の講座生も精一杯日頃の成果を発表します。子どもや若者のパワー、熟年の技の妙味を味わっていただければと思います。

また、ポン菓子、綿菓子など夜店もありますので、ご家族みなでお越しください。より多くの方との交流の輪を広げ、過ぎゆく夏の夜をみんなで楽しみたいと思います。

人権啓発展

(ポスター・短作文展)

優秀作品展 7月20日(金)～8月3日(金)

応募全作品展 8月4日(土)～8月16日(木)

☆優秀作品展☆

7月20日(金)～8月3日(金) 社公民館多目的ギャラリー

☆応募全作品展☆

8月4日(土)～8月16日(木) ビオ社店

市内の小・中学生の作品の展示を公民館・ビオ社店で開催しますので、ぜひご覧ください。

小・中学生のみなさんが、時間をかけて丁寧に作成しています。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、友達、みんな一緒にポスター、短作文の中に流れる人権意識を読み取ってください。そして、ご家庭や学校、職場でお話いただければと思っています。



第一期

加東市民人権講座

人権落語 9月8日(土)

人権ギター漫談 10月12日(金)

☆人権落語 9月8日(土)

東条文化会館

「親しき仲にも人権あり」

多可町教育委員会主任指導主事

近藤文好さん

☆人権ギター漫談 10月12日(金)

滝野文化会館

「僕は在日関西人

—浪速の唄う巨人・人権ギター漫談—」

浪速の唄う巨人パギヤんこと

趙博さん

ちよつと気分を変えた人権講演会です。

かたりあい

ともに学び合う

うたもある学びの場へ

ぜひお越しください。

この秋は、
「じんけん」を体験しに出かけよう！！

「京都人権ゆかりの地」を訪ねる実地研修

11月13日(火) 予定

京都には、たくさんの人権ゆかりの場所があります。耳塚、水平社発祥の地、東寺などを訪れ、ボランティアの人権ガイドさんより、その地にまつわるお話を聞きます。そして、一人ひとりの人権感覚を磨き、人権意識の高揚に努めます。

水平社博物館見学・学習会

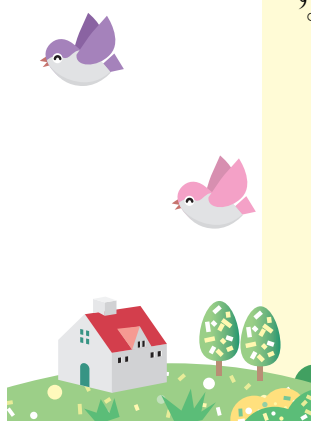
12月1日(土) 予定

市内の中学生を対象に、奈良県の水平社博物館で、現地学習会を実施いたします。同和問題の早期解決と、正しい理解をすすめるために、学習会を予定しています。実際にはなかなか行く機会が無いと思います。現地で、教科書では得られない学習を体験していただきます。

「人権と福祉のまちづくり」講演会

12月2日(日) 滝野文化会館

まちづくりの中で大切なキーワードとなる「人権」と「福祉」。それらを担当課がコラボレーション（連携）して開催いたします。





子ども会・老人会・婦人会・地区役員会などに、ご活用いただける啓発ビデオを本年度も購入しましたので紹介します。

なお、本課では所蔵ビデオ一覧表「ビデオライブラリー」も作成しておりますので、必要な方はお気軽にご連絡ください。



(25分・ビデオ)

人権を行動する ―その時あなたはどうしますか―

セクシュアル・ハラスメント・個人情報保護の保護、部落差別という三つのケースを設定して、みなさんに行動するかしないかの分岐点を提示します。その時、自分ならどのように行動できるか、できないか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えていきます。



(25分・ビデオ)

働きやすい職場をめざして

―こころの健康と人権―

職場で、うつ病を中心とする心の病にかかる人が増えていきます。ストレスを生む職場とは、こういった職場なのか、また皆がいきいきと働きやすい職場にするために、どういったことに配慮すればよいのかを職場全体で考えることができます。



(90分・DVD)

あした元気になる!

空襲で家族を失ったかよ子。世話になっていく伯母の手伝いをしながら、残された兄・喜三郎の行方を捜し続けていました。しかし、思い出の詰まった生家の跡地が売り渡されると聞いてたまらず家を飛び出します。翌日、ついに浅草で兄と再会を果たします。



(12分・ビデオ)

アニメ いじめはゼッタイわるい

はつきりといじめを嫌悪し、いじめに加担せず、ためらうことなく先生や親に知らせる・・・そうした行動をとるための力を幼い時期の子ども達に植えつけます。

クレヨンに色をのせて

火って不思議やな

火って不思議やな

となりの木に分けてやっても

火は少なくならんもん

火は心の中のやさしい気持ちとおんなじなんやな

クレヨンは色のかたまり

クレヨンは色のかたまり

これからかく絵のかたまり

僕らだって明日の

ゆめのかたまりで

できてるんやな

今日の次に明日の僕が

あるから

僕は自分で決めるんや

(金の星社『原田大助詩集 土の中には見えないけれどいつもいっぱい種がある』より)

男女共同参画ってなに？

加東市では、男女共同参画プランの策定に向けて準備をすすめています。このプランは、男女が性にとらわれず、社会のあらゆる分野に共に参画し、互いに人権を尊重し合いながら、一人ひとりの個性と能力が十分に発揮できる社会の実現を目指しています。

今回から男女共同参画についてシリーズでお知らせしていきます。

男女共同参画社会ってどんな社会？

人は誰でも、たくさんの可能性を持って生まれてきます。

「女だから」とか「男だから」というだけでその可能性が狭まれることなく、それぞれの個性を生かし、いろいろな生き方を認め合うことができる社会。それは女性に新たな可能性を開くと同時に男性にも新たな可能性の扉を開く社会です。



個人の意思を尊重し、自らの意思に基づいて、生き方を選択できる社会です。

新しい社会は、社会の構成員として家庭、学校、地域、職域などのあらゆる分野で、男性も女性も人として共に考え、共に取り組む社会です。

単にものごとの決定段階に参加させるだけではなく、ものごとを作っていく立案の段階から主体的に関わって意見を反映させていくのが参画です。

政治や行政の場だけではなく、仕事、地域活動、教育などのあらゆる分野で、自らの意思に基づいて参画する機会が確保される社会です。



男女が協力し、家庭生活と仕事や地域活動を行い、共に支え合い責任を分担しながら、人間らしい生き方が楽しめる社会です。

・短作文優秀作品

、ポスター100点、短作文146点の応募があり、選考の結果、以下の優秀作品が決りました。（敬称略）

【ポスターの部】



東条西小学校3年 松浦 愛



鴨川小学校1年 西川 香織



東条東小学校4年 都倉 彩葉



米田小学校4年 河村 味奈



福田小学校5年 上石 悠貴



滝野南小学校5年 掘井 萌



東条中学校3年 片岡 和貴



社小学校5年 上月 日向

「人権文化をすすめる市民運動」ポスター

児童生徒の皆さんを対象に、「人権文化をすすめる市民運動」ポスター・短作文の募集を行ったところ

【短作文の部】

いやなこと 人にやらない やらせない

社小学校 6年 宮野大和

「ごめんね」と言ったばかりの心もすっきりだ

福田小学校 5年 竹本裕哉

「助けよか。」「ありがとう。」「その気持ちで心をつなぐ

米田小学校 5年 勝本絢介

一人一人の 命の重さは 同じだよ！

三草小学校 6年 岡本茉耶

地いきの人にあいさつしたら、元気がいいねとほめられた。またしようかな。

鴨川小学校 6年 小薮佳苗

こんにちは！ あいさつ返せば笑顔が増える！

滝野東小学校 6年 井本萌夏

父母と 語りあおうよ 本音をね

滝野南小学校 6年 稲坂竜二

毎朝、母がおはようと言ってくれる、なにげない言葉だが、朝の最高の言葉。

東条東小学校 6年 高見直樹

持とう大切な心を。言葉は違ってもみんな同じ人間だよ

東条西小学校 5年 依兼梓

大丈夫？君が言ったその一言に、すごく救われたんだ。ありがとう。

社中学校 1年 小紫愛衣

勇気を出して、かけた言葉が、人の心をひらくカギ

滝野中学校 1年 藤井智華子

「どうしたの」「この一言から始めよう

東条中学校 2年 小西つかさ

なくなっしてほしい。世界中で今もなお続く戦争。

附属中学校 3年 藤本美里

気づいてほしい。いなくなっからじゃ遅い、人々の命を。

附属中学校 3年 藤本美里



社中学校3年 國井聡子



滝野東小学校5年 大久保拓志



三草小学校5年 伊東朱音

子どもの人権と健全育成を考える講演会

7月8日、「子どもの人権と健全育成を考える講演会」が社福祉センターで開催されました。

オープニング

人形劇団「おやゆび姫」
「うさぎ月の三日」

年に一度のうさぎの子どもたちのお祭り。
美しい月夜の森で起きる
楽しくておかしな
できごとに・・・。



講演



演 題 「子どものころを育てる」
講 師 福知山市観音寺住職
小藪実英さん

《小藪実英さんの講演の中から抜粋》

大きい小さい、速い遅い、強い弱いを優劣として見るのは人間の目。これらを個性として見るのは仏の目。

アジサイの花は花びらが4枚のところから「四枚^{しまい}」と読まれていた。花の色が変わっていくことから「浮気の花」、「うつろう花」と言われた。だから民家にも植えなかった。

江戸時代は武士道に反するとして嫌われた。さくらのようにさっと咲いて散っていくのが良いとされていたから。アジ



「心の日めくり」より

サイはいつが満開なのか分からない。なぜなら最後まで散らないで花の色が変化して枯れていくから。戦後はこのような花を見る目が変わってきた。梅雨のうっとうしい時期に長く咲いていてくれて、長持ちしてありがたいとされた。これは人間がつくった考えである。総じて誰かが言っていることを間に受けて間違った人生を生きていくと偽りの人生となる。正しい心、正しい見方は親が子どもに教えるべきである。

「じゃしょういちによ邪正一如」 邪な考えも同じ心の中から生じてくる。鬼のような心も仏のような心も同じ心の中に同居している。親が子どもの心をどちらの心にしてやるかが大事である。子どもの心を良い心にしてやると良い方へ進む。親の責任は非常に大きい。

「宇宙の法則」 憲法、法律以前にこの世には法則がある。それは宇宙の法則である。原因があって結果が生まれる。子どもの頃から考えを教えておく。上手に法律の網を潜り抜けることはできても、宇宙の法則は逃れられない。分からないように人の物を盗んでも必ず後に悪い結果が生まれてくる。例えば、風邪を引いても、何もないのに引いたりはしない。風呂上りにうろうろして湯冷めをして風邪を引く。情けをかけることは

回りまわって自分に返ってくる。良い種を蒔いておくと、いつかは良い種が生まれてくる。子どもの頃にこの話を十分にやることが大事である。

「子どもと親の関係」 時間を守る。約束を守る。いくら勉強ができて時間を守れない子は社会へ出てもだめ。これは社会で生きていく上で非常に大事なことである。私は、子どもとの約束は、葬式以外は絶対に守るようにしてきた。子どもにとっては指折り数えた待ちに待った約束だから。

母親は家の中の太陽。母親が暗いと家の中も暗くなる。母親は明るくなければならない。清らかでなければならぬ。

父親は厳しい部分がないとだめである。悪いことをしたら子どもにガツンと言ってやる。ガツンと言ってから後でやさしく理由を言ってやる。父親は厳しくなければならぬ。優しくなければならぬ。



「心の日めくり」より

《会場みなさんからのご意見》

●昔の人はアジサイの花を嫌う、花びらが4枚で死につながる、色が次々と変わるので浮気性とか意味もなく偏見の目で見ると。子どもがすばらしい時代は社会も明るい、安心できる社会を築くためにも子どもを育てる大切さが良く分かりました。母親は常に明るくやさしい心を持たないといけない。



●時間を守る、約束を守る人は信用できる。少年院に入った子どものエピソード「母のために」。子どもの性質、特質に合わせて育てる。上手下手ではない「自分らしく」生きる。夫婦の会話が大事。

- 持ち味を引き出す子育て、約束・時間を守る大切さなど親の責任の大きさをお聞きした。遅いかもしれませんが、家族内での会話を大切に良い面を引き出す家族であるよう心がけていきたいと思います。
- 子どもを育てるのは何といっても家庭である。今からでも遅くないかな。明るい母親になろう。
- 夫婦の会話が一番耳に入る、説教は耳に入らない、子どもの持ち味に沿って育てるというのが印象に残りました。父親も母親もきびしく、やさしく、明るく、明らかに子どもたちを導いていけたらいいと思います。
- 子どもも大人もすべて性格は違うと思う。子どもは育てるものではなく、親を見て育つものと思っている。子どもの性格が良くないのはその見本を親が示していると思っています。原因があり、結果があることがよく分かりました。親が子どもに言うのではなく、示すことが大事である。

「社会を明るくする運動」 メッセージ伝達

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」への協力をお願いする法務大臣からのメッセージが
小野加東保護区保護司会会長小野里二十三さん
から山本市長に伝達されました。



こんなとき、あなたはどうしますか？

あなたの子どもや地域の子どもの非行を防止するためには、学校・家庭・地域のみんなが協力して対応していく必要があります。

事例 1 子どもが見慣れない高価な持ち物を持っていました。

こんなとき、あなたはどうしますか。

事例 2 突然、「学校に行きたくない」と言いました。

こんなとき、あなたはどうしますか。

事例 3 子どもが万引きをして捕まるとスーパーから連絡がありました。

こんなとき、あなたはどうしますか。

事例 4 子ども部屋からタバコの吸い殻が見つかりました。

こんなとき、あなたはどうしますか。

事例 5 親に向かって「うるさい。ほっとけ。」などと口ごたえするようになりました。

こんなとき、あなたはどうしますか。

子どもの人権と健全育成を考える講演会での発表作文

『見守り隊の方たち』

社小学校

4 年 ^{みやもと}宮本 ^{かな}佳奈さん

いつもわたしたちの行き帰りを見守ってくださっている見守り隊の人たちに、とても感謝をしています。

朝、学校に行くときに、見守り隊のおばさんに出会います。グリーンの帽子をかぶって、橋の欄干のところで立っておられます。赤岸の交差点ではおじさんが立っておられます。出会うと、

「おはようございます。」

と言います。すると、おじさんやおばさんは、「おはよう」

と言ってくれます。

とおるたびにあいさつしてくれます。きょうは、雨がふっていました。かさをさして、わたしたちが通るようすを見てくださいました。早く通る通学班もあるし、おそく通る通学班もあります。時間がかかるので、見守り隊のおじさんやおばさんは、とてもしんどいと思います。

わたしたちが帰るころになると、道のそばにおいてあるいすにすわって、5、6 人の人でおしゃべりをしながら、待っていてくれます。楽しそうにおしゃべりをしています。たまに、「わははは。」とわらい声が聞こえてきます。

わたしたちが通りすぎるとき「おかえり。」とか「さようなら。」とか言ってくださいます。ときどき家の近くまでついてきてくださいます。親切だなと思います。

学校に行くときも、帰るときも、とても安心です。とてもうれしいです。

学校では、下校が 3 回に分かれています。1、2 年がする 2 時 10 分下校、全校生が一斉下校する 3 時、高学年だけの 4 時下校といろいろあります。どんなときでも待っていてくださいます。長い時間でたいへんだと思います。

わたしたちの地区だけでなく、どこの地区にもグリーンのぼうしをかぶった見守り隊のおじさんやおばさんがたくさんおられます。信号のある交差点や車のよく通る道のところに立っていてくださいます。わたしたち社小学校のみんなのために、朝早くから見守っていてくださいます。昼は、お仕事があるかもしれないのに、ずっと待っていてくださいます。

わたしは、感謝の気持ちでいっぱいです。グリーンのぼうしをかぶった見守り隊の方々を見かけると、ほっとして、あたたかい気持ちになります。つゆになったら、雨がよくふります。夏になると、すごく暑くなりそうです。毎日たいへんですが、お体に気をつけてくださいね。おねがいします。



言えなかった「ありがとう」

福田小学校

6年 松本 莉奈さん



あなたは、だれかに「ありがとう。」と言っておけばよかったと思ったことはありませんか。

わたしが小さいころ、1年に一度の楽しみは、山口県にいる祖父と祖母の家に行って泊まることでした。

「ただいまあ。」

と、あいさつをしてドアを開けると、そこには、ベッドに横たわっている祖父がいました。祖父は、数年前、2階の階段から落ちて首の骨を折ったのです。首の骨が折れたけど、命は助かり、わたしはほっとしました。でも、そのときからベッドにねていることが多くなり、話すのもうまくなけいようになりました。そんな祖父の姿を見て、わたしは心配でしたが、祖父とは、あまり話をしないまま何年かが過ぎていきました。

そして、1年の夏、その年も祖父の家に泊まりに行き、いつものようにいとこやおばたちと楽しく過ごし、家に帰りました。その翌日、祖父の家から、いきなり電話がかかってきました。祖父がなくなったという知らせでした。いっしゅん、私は何がなんだかわけが分からなくなりました。2日前まであんなに元気だったのに……。わたしが、「おじいちゃん、来年も来るね。」と言うと、にっこり笑ってくれたのに……。

祖父のおそう式の時、わたしは祖父とのいろいろな思い出がこみ上げてきました。祖父の家に行くと、いつも祖父が、

「おかえり。」

と言って、にっこりしてくれました。それなのに、わたしは

「ただいま。」と、ぼそぼそと言っただけでした。お正月には、いつも、

「はい。」

と言って、お年玉をくれたのに、そのときも、わたしは、

「ありがとう。」

と、小さな声で言っただけでした。祖母には、ときどき折り紙で贈り物をあげたけれど、祖父には何もあげていなかったことも思い出しました。

わたしは、祖父の写真を見つめながら、あのとき、あのしゅん間に、「ありがとう。」と大きな声で言っておけばよかったと、何回も後かいしました。「ありがとう。」を言えなかった自分が情けなくて涙が出てきました。

でも、悲しいのはわたしだけじゃない。姉たちや母、おばも悲しいのだと気づきました。わたしは、祖父の分も長生きする。そう決めました。

みなさんも大切な人には、うれしかったこと、楽しかったことなど、どんなことでもすなおな心で伝えるようにしましょう。私の言えなかった「ありがとう。」は、心の中で、祖父に伝えようと思います。

わたしにできること

米田小学校
5 年 藤木 ふじき 理沙さん りさ



わたしには、大好きな親せきのお兄ちゃんがあります。家に来ると、トランプやお絵かきをいつもいっしょにしてくれます。わたしは一人っ子なのでお兄ちゃんが遊んでくれるととてもうれしいです。

お兄ちゃんは高校生のときに何かの病気にかかって、片方の目が見えなくなってしまいました。もう片方の目は見えるけれどそれでも、物にぶつかってしまうことがよくあります。でも、お兄ちゃんは目が片方見えないだけで、車も運転できるし、夜おそくまで仕事にも行っています。それに、明るいし元気です。わたしは、そんなお兄ちゃんをととてもすごいと思っていました。

あるとき、お母さんと買い物に行っていて、目の不自由な人を見かけました。点字ブロックの上をつえをつきながら 1 人で歩いておられました。お兄ちゃんより大変そうだなと思いながら見ていました。声をかけることはできませんでした。

そんな 4 年生のある日、アイマスク体験と点字の勉強をすることになりました。わたしはお兄ちゃんや目の不自由な人のことを知るいい機会だと思い、関心を持ちました。

点字をやってみました。初めてだったし、よく似ている文字もあり、打ったり読んだりするのは大変でした。自分の名前も点字で打ってみました。目が見える状態でも打つのが大変だったので、もし見えなかったらむずかしいだろうなと感じました。

アイマスク体験では、目が見えなくて歩く不安な気持ちが分かりました。わたしは友達とペアになって学校内を歩きました。友達のうでをしっかりとつかんでいとし、友達が「段があるよ。」とか声をかけてくれたのでなんとか歩けました。とくに、階段はとてもこわかったです。

目が見えないことで不安なこと、いろいろな動作がしにくいことなどたくさんのが分かりました。お兄ちゃんも片目は見えるけど、きっとこんな思いをすることもあったんだろうなと思いました。

また、この勉強をしてから今まで気がつかなかったことに気がつきました。周りを見てみると、アルミかんのふたやエレベーターのボタンのところ、公共しせつの中などいろんなところに点字がありました。これがあることによって、不安が少しなくなっている人がいるんだと感じました。

でも、一番の不安をなくす方法は、困っておられるようであれば、「何か困ったことはありますか?」「だいじょうぶですか?」と声をかけ、自分からできることをしようと考えようと思いました。そうすることで、おたがいの心がやさしくなれるような気がします。これからは、勇気を出して、「何か手伝うことはありませんか?」と声をかけていこうとわたしは思います。

人権トピックス

8月は「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間です

～生きがいと幸せを築き合う人間尊重のまちに～

すべての住民がお互いの人権を尊重し合い、部落差別をはじめ、あらゆる差別のない「生きがいと幸せを築き合う人間尊重のまち」の実現を目指しています。

多彩な催しを通じ、参加者の相互交流を図り、人権尊重に根ざしたものの見方や考え方を身につけ実践していく市民運動を展開しましょう。

心あったかいフォーラム

花鉢プレゼント

「8月10日 ハートの日」

☆ 日 時 平成19年8月10日(金) 午後7時20分から午後9時30分

☆ 場 所 東条文化会館 コスミックホール

☆ 内 容 ○オープニング たきっこ 滝呼ソーラン
○人権啓発ポスター・短作文優秀作品表彰
○トーク&コンサート「愛という名の奇跡」
難病・ひきこもりを乗り越えて“光のステージ”へ
出演者 えすぺらんさ(奥田勝彦・奥田良子)

人権啓発展のご案内

期 間	場 所	展 示 物
7月20日～8月 3日	社公民館多目的ギャラリー	人権啓発ポスター・短作文(優秀作品)
8月 4日～8月16日	ショッピングパークBio	人権啓発ポスター・短作文 男女共同参画パネル展
8月18日～8月30日	東条福祉センター「とどろき荘」	男女共同参画パネル展
8月31日～9月12日	滝野公民館 ロビー	男女共同参画パネル展

街頭啓発活動

☆ 日 時 平成19年8月7日(火) 午後5時から

☆ 場 所 やしろショッピングパークBio

☆ 内 容 ミニカレンダー等を配布します!!

編集後記

今年は、雨が少なく空梅雨だとか。言っていたとたん大型の台風が襲ってきました。梅雨と台風がしょしょにやってくるこの頃の気象は、地球温暖化現象の現れなのでしょうか。今年も部屋のクーラーの設定温度を28度に、車の冷房も高めにセットして、クールビズで、地球温暖化防止に一役かいたいですね。

発行

加東市教育委員会
加東市人権・同和教育研究協議会

TEL 0795-483598
FAX 0795-485525
〒679-0292
兵庫県加東市下滝野1269-2